

新社長

「内部統制を確立。ビジネス効率化を追求」



三井物産の国内子会社4社が来春、経営統合するのを前にきょう1日、統合受け皿会社として発足

の社長に就任。海外勤務が長く、英語と仏語を操る紳士的なビジネスマンだが、見かけの温厚さとは裏腹に、気心の知れた相手には激しい感情をぶつける短気な一面も。

「対話重視、人材育成に力」

三井物産スチール 丹内 孝治氏

会社生活 6月からは北海道を皮切りに、国内の19拠点、パリ、カサブランカ、ロンドン、シンガポールで通算15年間のごした国際派。「国内営

33年のうち、パリ、カサブランカ、ロンドン、シンガポールで通算15年間のごした国際派。「国内営

6月からは北海道を皮切りに、国内の19拠点を第一に考える。本社ビルの選定では、顔を合わせてのコミュニケーションを重視し、1フロアに営業系全社員が入れるビルにこだわった。新しい本社フロアには約300人の机を

業に深くかわるの初めだが、今は北海油田のプロジェクト案件に携った80年代と並べ、充実している。国内各地に足を運び、肌感覚でいろいろ吸収したい」と目を輝かせる。

など統合の利点を説明し、社員の不安を解きほぐした。

「将来的に会社を支えるのは人材」を命題に、人材育成や人事制度の道を探る。「実はコーチングの研修を受

並べる計画。自身も、全国の拠点

めぐりで全社員の写真を撮り、顔と名前を早く覚える努力をするほどの力を入れよう。

自他ともに認める酒豪だが、入社時から続けるゴルフ（H15）のおかげか、健康診断で異常が見つかったことはない。中学から大学まで続けた剣道は、4

略歴

（たない・たかはる）74年慶応義塾大経済学部卒、三井物産入社。仏修業生、カサブランカ事務所、ロンドン支店を経て、英国三井物産鉄鋼部長、02年鉄鋼製品本部薄板貿易部長、05年6月から同本部副本部長。東京都出身、56歳。

段の腕前。三井物産の剣道部では監督と部長を経験し、現在は顧問。経済学者の故小泉信三氏の名言「練習が不可能を可能にする」が信念。「一生懸命やっていたら、自ずと道は開ける」と力を込める。

（中野 裕介）